

# 中澤省一郎のSS経営メールマガジン

## 石油業界の再編の再燃か？

### ①出光徳山製油所閉鎖

11月1日午後3時過ぎ、日経メール速報で、「出光、徳山製油所を閉鎖精製能力19%削減」と流れました。

具体的な記事は、以下です。

.....

出光興産は1日、2014年3月に徳山製油所（山口県周南市）での石油精製から撤退すると発表した。同製油所の精製能力は日量12万バレルで全体の19%。同社の4カ所の製油所の中では最も小さい。ガソリンなど燃料油の内需減少が避けられないなか、生産体制をスリム化し、成長分野の海外事業や電子材料など非石油事業へのシフトを進める。

徳山では、原油処理設備の停止に伴いガソリンなど石油製品の精製も取りやめる。一部の石油化学製品の生産は継続する。今後も引き続き油槽所として使う。

政府は昨年、「エネルギー供給構造高度化法」に基づき、石油各社に実質的な精製能力の削減を促してきた。同法の基準が公表されて以降、製油所の閉鎖を決めたのは出光が初めて。

国内の石油精製能力は石油業界全体で日量約460万バレル。人口減少や地球温暖化対策などの影響で内需減少が続き、同100万バレル以上が余剰とされている。出光は徳山のほか北海道、千葉、愛知に製油所を持ち、総能力は同64万バレル。

.....

### 私の感想は、「ついに公表されたか！」です。

私のセミナー等をお聴きの方は、「出光の徳山の閉鎖と、JXの室蘭の閉鎖はセットですよ」ということを聞いた記憶がお有りかと思います。私は、JXと出光の製油所は、相互補完関係にあり、「北海道の出光の苫小牧製油所とJXの室蘭製油所」と「山口のJXの麻里布製油所と出光の徳山製油所」が重複しており、この重複を解消することは、

- ①高度化法のクリアー（精製設備の廃棄・削減）
  - ②収益力の大幅改善（実質的な供給一体企業の重複解消）
- の2点で大きな貢献をすると考えておりました。

近い将来、JXの室蘭製油所の閉鎖の公表もあるのではないかと推測しております。

ここ最近の石油業界のニュースを時系列に並べると

6月9日	JXエネルギー 室蘭製油所閉鎖を検討（即日、JXはHPで否定）
7月15日	昭和シェル石油 川崎・扇島工場閉鎖
10月21日	コスモ石油 韓国大手（ヒュンダイオイルバンク（HDO））に生産委託検討
10月29日	JXエネ仙台製油所、今冬の供給機能を大幅増強（現行の9レーンを36レーンに）

となります。

現時点で高度化法を完全にクリアーしているのは、昭和シェル石油、出光興産であり、一定の目処がついている元売りはJXとなります。

今後の注目点は

- (1) JXは室蘭製油所の閉鎖を何時公表するか？
- (2) コスモ石油はどのように対応するか？大震災時の火災で閉鎖している千葉製油所の動向と併せてどうなるか？
- (3) EMはどのように高度化法に対応するか？
- (4) 製油所を持っている小元売りはどのように対応するか？（菊間を所有する太陽石油、KPIの半分を所有する三井石油等）であるかと思われます。

また、JXの室蘭製油所の閉鎖が近く公表とされるのではないかと考えております。

一方、今月はじめには、EMグループより、日本国内のグループ企業の組織変更に関する公表が予想されます。

ご注目してください。

今月中に再度、配信します。

その時点では、SS経営に与える影響等も考察します。

出光の公式発表はこちらをご覧ください。

<http://www.idemitsu.co.jp/company/news/2011/111101.html>

公認会計士 中澤省一郎の  
SS経営メールマガジン NO1  
平成23年11月9日FAX配信

※配信は不定期です。できる限り  
月1回以上は配信します。

※今回のFAXは、11月1日にメール  
配信したものです。第2回目以降  
は、同日配信します。

お願い：可能な限り、メールアドレスの  
登録をお願いします。

FAX 03-5546-2855  
メール

[nakazawa-cpa@eco.ocn.ne.jp](mailto:nakazawa-cpa@eco.ocn.ne.jp)

なお、次回以降の配信を希望されない方も上記FAX、メールアドレスにその旨をご連絡下さい。